

ヨシナカ新聞

1月号

発行所

（株）北陸ヨシナカ

東京営業所

TEL: 03-3555-0796

新年を迎えて・・・

新しい年になりました。皆様にとりまして、皆様にとりまして、素晴らしい一年になります。皆様からお祈り申し上げます。

ヨシナカ新聞も今年の7月号で100号を迎えます。ここまで続ける事が出来たのも、皆様のお蔭だと感謝の気持ちでいっぱいです。『一年の計は元旦にあり』という諺がありますが、今年に対しての自分の気持ちをはつきりさせる意味も込めて、元旦に住まいがある西葛西から柴又帝釈天まで、徒歩でお参り



に行きました。柴又駅前のお寅さんのブロンズ像までおよそ2時間15分で到着。寅さんの銅像は、渥美清さんの死により『男はつらいよ』シリーズが終了してしまつた為、「寅さん」および渥美清さんをたたえて1997年の夏に建てられたそうです。思っていた以上に凛々しい姿でした。寅さんに挨拶を済ませた後、帝釈天でお参りして電車で帰りました（笑）。本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

ステンレス豆知識

SUS316

SUS304はニッケル8%、クロム18%と十分な耐食性を持っていますが、塩分の多い環境下では腐食してしまう場合があります。そこで、モリブデンを添加、ニッケル量を増やしたSUS316という鋼種が登場しました。クロムは空気中の酸素と結びついて不導態皮膜というバリエードを

表面に生成し、ニッケルはその膜を強固にする役目を持っていますが、ニッケルの量を10%にする事で、より強固にします。

そして、モリブデンは、バリアが破られた周辺のクロムを呼び集めて、バリア修復を促します。モリブデンのさびに対する抑制効果はクロムの約3倍あると言われています。（参考：新日鐵住金ステンレスホームページ）

本の紹介

『おもかげ復元師の震災絵日記』



著者の笹原留似子さんは損傷したり苦悩に歪んだ表情の遺体を生前のおだやかな表情に修復する特殊な技術

を持たれた復元納棺師。東日本大震災で亡くなられた300人以上の遺体をボランティアで復元されました。安置所で身元不明故に遺族の許可が取れず、3才くらいの女の子の遺体を復元出来なかった深い後悔から始まったそうです。

笹原さんのモットーは亡くなられ

た方の表情を笑顔にしてあげること。津波に命を奪われた遺体は損傷が激しい為、遺族が死を認める事が出来ずにいるのですが、復元後は遺体と向き合い、話しかける事が出来るようになるそうです。

本は笹原さんが復元された遺体の中から約60名の方の絵と言葉が載せられています。記憶を鮮明に残す為、ご自身で描かれ、そして言葉に残されました。右ページに復元されたお顔の絵、左ページにコメントが綴られています。描かれた復元後の穏やかな表情、そして愛情に満ちたコメントを読むと、涙が止まらず、読み進めるのが大変でした。ただ、哀しい気持ちだけでなく、笹原さんの優

しいお気持ちが、遺族の方の心をさぞかし救った事だろうと、読み終えた時はなんとも言えない気持ちになりました。本の中から一人だけですが、絵とコメントを紹介させて頂きます。



4才女の子

「探して探して探して やっと見付たんです」

お父さんが泣きながら教えてくれました。「ごめん、ごめん・・・お父さん、守ってやれなくて・・・」でもねお父さん
こうやって、ずっと傍に居てくれるじゃないですか、涙をこんなに流して流しているじゃないですか・・・
この子を守ってくれてるじゃないですか!

K社員のフルト上奮戦記 安定した音を出す為に

本番でもそうしてくれないのなら、私のフルートの向きを変えないで欲しいと、大変失礼な事を先生に言ってしまった、怒られるかなと覚悟したのですが、意に反して先生はとてもし哀しそうな表情を浮かべられ、私がうまく演奏出来るようサポートする事しか考えていなかったが、私の思いを察する事が出来ず、申し訳なかったと仰られました。そう言われると、私も大人げない事を言ってしまったという気持ちでいっぱいになり、失敗したらどうしようという気持ちより、ここは、先生の為にも結果を残さなければという思いが強くなりました。

Nさんとの合同練習後モレッスンを借りて一人で練習を続けました。そこで、フルートの角度を意識するあまり顎が上がっているのではと思い、少し顎を下げ気味に固定すると音が安定して出るようになりました。